

公益財団法人 檜の芽会 御中

令和 7 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

【団体の概要】		①作成日	令和 8 年 5 月 日
②法人・団体名	認定特定非営利活動法人放課後こどもクラブ Bremen		
③団体所在地 (都道府県・市町村名まで)	宮城県石巻市		
④責任者氏名	寶 鈴子	(役職名等)	理事長
⑤担当者氏名	浅野 彩香	(役職名等)	事務

【奨学活動の概要】					
⑥助成交付決定番号	R07-037	⑦助成金額	100 万円	⑧申請カテゴリー	D
⑨奨学活動名	福祉と教育の一体化と学生支援～質の良い無料学習支援～				
⑩主な実施場所名・ 及びその住所	(1)石巻市ささえあいセンター（石巻市穀町 15 番 2 号） (2)Bremen2 号館（土曜 Bremen）（石巻市日和が丘四丁目 5-33）				

⑪活動内容とその成果の概要（詳細は【様式 3 - 2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

本事業では、経済的困難や不登校傾向、学習機会の不足など課題を抱える中学生・高校生を対象に、石巻市ささえあいセンターおよび Bremen2 号館で無料学習支援と居場所支援を実施した。学校に登校していない生徒に対しても継続して学習できる環境を整え、一人ひとりに寄り添った支援を行った。また、受験生を対象とした受験勉強会（無料学習会スペシャル）も実施し、進学に向けた支援を行った。

教員免許を所有しているスタッフが継続的に関わることで、学習面だけでなく精神的な支えにもつながった。「安心して通える場所ができた」「勉強を続ける自信につながった」などの声が寄せられた。

全国学力・学習状況調査において、石巻市では全国平均を下回る状況が続いており、学習機会の格差が地域課題となっている。そのような中、本事業を通じて、子どもたちの継続的な学びと安心できる居場所づくりにつながった。今後も地域の課題に寄り添いながら、継続して支援活動を行っていきたい。

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式 3 - 2 等でご報告願います。）

支援対象	延べ人数 (A : 人)	平均時間 (B : 時間)	活動量 (A x B)	備考・補足・計算根拠等
中学生等	266	3	798	石巻市ささえあいセンター239 名、土曜 Bremen27 名
高校生等	8	3	24	石巻市ささえあいセンター（7 月まで）
大学生等				
学習支援員等	204	3	612	石巻市ささえあいセンター157 名、土曜 Bremen47 名
その他				
合 計			1,434	

⑬その他の定量的な数値（任意）

令和 7 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

奨学活動名：福祉と教育の一体化と学生支援～質の良い無料学習支援～

法人・団体名：認定特定非営利活動法人放課後こどもクラブ Bremen

作成者 氏名：事務 浅野 彩香

1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

石巻市では、全国学力・学習状況調査において全国平均を下回る状況が続いており、学習機会の格差や不登校などが地域課題となっている。また、保護者の生活困難や経済的事情を抱える家庭も多く、塾に通いたくても通うことができない子どもたちも少なくない状況にある。

このような背景を踏まえ、家庭環境や不登校等により十分な学習機会を得られない中学生・高校生を対象に、無料の学習支援および居場所支援を実施した。活動は、交通の便のよい石巻市ささえあいセンターおよび Bremen2 号館において実施し、学力や心理面、生活状況に配慮しながら、少人数での丁寧な支援を行った。

また、石巻市ささえあいセンターでの学習支援の前には生活相談の時間を設け、保護者が抱える不安や悩みについて相談できる体制づくりを整えた。子どもへの支援に加え保護者支援にも取り組むことで、家庭全体を支える活動につながった。

さらに、学校に登校していない生徒に対しても継続して学べる環境を整備し、安心して通える居場所づくりを重視した。教員免許を所有しているスタッフが関わりながら学習支援を実施し、受験生を対象とした受験勉強会（無料学習会スペシャル）も開催することで、高校進学に向けた支援を行った。

2. 実施した奨学活動の詳細

(1) 石巻市ささえあいセンター

実施日：毎週火曜日

（令和 8 年 1 月より毎週金曜日も実施）

開催回数：47 回

参加者数：延べ 247 名

（中学生延べ 239 名、高校生延べ 8 名）

Bremen 生活相談 無料学習支援

子どもの未来を応援！
参加希望の方はぜひ申し込みください！
定員に達しない場合、随時募集します

場所 石巻市ささえあいセンター
日時 毎週火曜日 17:30～19:30
担当講師 阿部徹先生、伊藤晃先生、高橋義雄先生 他
参加対象 中学生、高校生のみ
定員 15名

【申し込み方法】
右側の QR コードを読み取り、必要事項を明記し、お申し込みください
お問い合わせ：0225-98-3095 (TEL・FAX 共通)
メールアドレス：bremen.jishinomaki@gmail.com

生活相談 お子様でお困りの方、どなたでもご相談ください
16:00～17:30 担当：菅 鈴子先生【要予約】

特定非営利活動法人 放課後こどもクラブ Bremen
この活動は、公益財団法人 野の会の助成を受けて実施しています。

めざせ合格!! Bremen 無料学習会スペシャル
～Bremen 生活相談・無料学習支援～

日程 2026 年 1 月 6 日 (火)
場所 石巻市ささえあいセンター 2 階ミーティングルーム
時間 1 部 10:00～12:00
2 部 13:30～15:30
3 部 17:30～19:30

参加対象 中学 3 年生、高校入試を受ける受験生の皆さん
中学 1・2 年生の方もモチベーションアップにどうぞ

担当講師 伊藤晃先生、阿部比佐子先生、高橋義雄先生
佐々木淳子先生 他、多数の先生方が支援してくださいます。
○ボランティア募集中心

【申し込み方法】
① 右側の QR コードから申し込み
② デラッシュ裏面の申し込み用紙を記入し Bremen 職員に提出

《後援》石巻市、石巻市教育委員会
公益財団法人 野の会の助成を受けて活動しています。

お問い合わせ 放課後こどもクラブ Bremen 0225-98-3095

石巻市ささえあいセンターでは、経済的な事情や家庭環境、不登校傾向などにより、学習機会や居場所が不足している子どもたちを対象として、学習支援および生活相談を実施した。学校の宿題や定期テスト対策、高校受験対策等を中心に、一人ひとりの理解度や状況に応じた個別支援を行った。

また、学習の前後には子どもたちとの対話の時間を設け、学校生活や家庭での不安・悩みについて相談できる環境づくりにも努めた。

令和 8 年 1 月 6 日には、高校受験を控えた中学 3 年生を対象に「無料学習会スペシャル」を実施した。午前・午後・夜間の 3 部構成で行い、延べ 17 名が参加した。受験直前期において、不安を抱える生徒に対し受験対策を集中で気に実施し、安心して学習に取り組める環境を整えた。長時間の学習を通じて学習習慣の定着につながった。さらに、支援員に気軽に相談ができる環境を整えることで、心理的な安心感の醸成にも寄与した。

また、保護者に対しては、担当講師が LINE 等を活用して定期的に連絡を行い、子どもの学習状況を

共有しながら支援を行った。家庭と連携した伴走型支援につながった。



(2) 土曜 Bremen

実施日：土曜日（月 3 回）

開催回数：27回

参加者数：延べ27名（中学生）

場所：Bremen 2 号館（石巻市日和が丘四丁目）



土曜 Bremen では、少人数制による学習支援活動を実施した。平日の学習支援とは異なり、落ち着いた環境の中で子ども一人ひとりと丁寧にに関わりながら、それぞれの理解度や状況に応じた個別支援を行った。学校の宿題や定期テスト対策を中心に、学習進度や苦手分野に合わせた支援を行うことで、安心して学習に取り組める環境づくりに努めた。

また、土曜 Bremen は予約制ではなく、子どもたちが「行きたい」と思った時に気軽に参加できる居場所として実施した。学校生活や集団活動、学習に不安を抱える子どもたちにとっても、無理なく参加できる環境となり、自分のペースで学習や交流ができる場となった。

学習の合間には、支援員や子ども同士で自然な対話が生まれ、学校や家庭以外の安心できる場所としての役割も担った。継続的な関わりを通じて、子どもたちが安心して自己表現できるようになるなど、安心感や自己肯定感の醸成にもつながった。

学習支援にあたる講師は教員免許を有しており、学習支援および心理的ケアに関して十分な知識・経験を有している。また、地域のボランティアも受け入れ、連携しながら活動を実施することで、地域全体で子どもを育てる環境づくりに努めた。



本事業については、理事長である寶鈴子が統括を行い、元小学校教諭および認定心理士としての経験・資格を活かしながら生活相談を担った。また、施設を運営する理事長等から相談が寄せられる場面もあり、地域における子どもの居場所や学習支援に関する関心の高まりが見られた。

Facebook



■周知方法

活動の周知については、学校や地域店舗、コンビニエンスストア等へポスター・チラシの配布を行ったほか、SNS（Facebook・Instagram）を活用し、活動内容や開催情報の発信を継続的に行った。なお、現在ホームページについては改修を行っている。



@BREMEN_ISHINOMAKI

■購入した教材



3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

本事業を通じて、学習支援の場が単なる「学習指導の場」ではなく、子どもたちにとって安心して過ごせる居場所として重要な役割を果たしていることが社会的に認知された。継続的に関わることで、当初は緊張していた子どもたちが徐々に自ら会話をするようになり、学習に前向きに取り組む姿勢が見られるなど、学習面だけでなく心理面にも変化が見られた。

また、保護者との継続的な連絡や生活相談を通じて、家庭が抱える不安や課題を共有する機会にもつながった。子ども本人への支援にとどまらず、保護者を含めた伴走型支援を行うことの重要性を改めて認識した。

一方で、学習習慣の定着や継続的な参加が難しい子どももあり、一人ひとりの状況に応じたより柔軟な支援体制の必要性が課題として挙げられる。また、安心して通える居場所を継続的に運営していくためには、支援員やボランティアの確保、ならびに活動資金の安定的な確保が引き続き課題となっている。

今後も、地域住民や学校、関係機関等と連携しながら、子どもたちが安心して学び、自分らしく過ごせる居場所づくりを継続していく。また、学習支援に加え、生活相談や保護者支援を含めた伴走型支援の充実を図り、地域全体で子どもたちを支える環境づくりへと発展させていきたい。

4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等（任意）

本事業を通じて特に印象的であったのは、当初学習にも消極的であった生徒が、継続して関わる中で徐々に表情が柔らかくなり、自ら質問をしたり学習内容について話すようになった姿である。

Bremen では、少人数での丁寧な関わりを基本とし、学習支援と居場所支援、さらに生活相談や保護者支援を一体的に行う伴走型の支援を実施している。そのため、子ども一人ひとりの変化や背景に寄り添うことができ、安心して関係性を築ける環境となっている。

また、学校に行きづらさを感じている生徒が自分のペースで通い続ける姿から、Bremen の取り組みが単なる学習支援にとどまらず、安心できる居場所として機能していることを実感した。

さらに、学習面だけでなく生活面や家庭環境にも目を向け、必要に応じて保護者とも連携しながら支援を行うことで、子ども本人だけでなく家庭全体を支える関わりの重要性を改めて感じる機会となった。

日々の活動の中で見られる小さな変化の積み重ねが、子どもたちの自己肯定感や安心感につながっていることを強く感じている。今後も Bremen としての強みである「居場所・生活支援・学習・体験活動の一体的な支援」を大切にしながら、一人ひとりに寄り添った支援を継続していきたい。

5. 学識者からのご意見、コメント、等（申請カテゴリーにて「S」が付されている団体）